



公益社団法人神奈川県助産師会 研修会報告

CTG と産科救急時の記録

【日時】平成 28 年 7 月 30 日（土）13:00～17:15

【会場】とわ助産院

講師：香川秀之氏

関東労災病院 産婦人科部長

～主催者より～

- ・ 2 年置いて今回で 5 回目の香川先生の CTG の講義、毎回学びがあり理解が深まってきました。
- ・ 少しずつ定義も読み方のコツも変わってきており、今回は特に LD と VD の違いははっきり分かりました。



受講者の皆様のご感想（一部ご紹介）

- ・ NST と CTG の評価の仕方が違う事を知りました。難しいがわかり易かったです。
- ・ モニターの判断の仕方をわかりやすく、理解しやすかった。パルトへ記録するのは直接介助をする助産師になるけど、分娩介助中は手をおろせないの周りのスタッフへ依頼したり、自分が間接介助の時は時刻と何をしたのかちゃんとメモするようにしようと振り返ることができました
- ・ とてもわかりやすく講義していただきました。自宅で復習し、実践に活かしていきたいです。記録の講義は事例をたくさん交えていただいてわかりやすかったのですが、事例紹介が多すぎて大切なところがどこなのかぼやけてしまっている気がしました
- ・ 私の病院では子宮収縮に遅れてみえる徐脈を遅発一過性徐脈と判断していることがほとんどです。今回の勉強会を病棟に持ち帰り、緊急帝王切開が少しでも減らせるように周知していきたいと思います。大変勉強になりました。ありがとうございました。記録についても実践できていないことが多くありました。5 年後に訴えられることを年頭におき、記載していきたいと思います



講師：安達久美子氏

首都大学東京 健康福祉学部看護学科

～主催者より～

豊富な臨床経験から出る具体例が多く取りいれて説明してくださり 大変分かりやすく記憶に残る講義でした。

クロックミック申請に関連しており、病院勤務者の出席も多く、キャンセル待ちの人気でした。

